

# 大安寺報

第57号



曹洞宗 圓祥山大安寺  
住職：長岡 俊應  
副住職：長岡 俊成  
〒039-4401  
青森県むつ市大畑町  
本町 80 番地  
Tel 0175-34-2926  
Fax 0175-34-6426  
E-mail info@daianji.jp  
http://www.daianji.jp

## 名句・名言に学ぶ

バーナード・ショー (劇作家)

私にとって人生は、はかなく消え去る蠟燭の火ではなく、燃えさかるたいまつである。私は今、このたいまつを手にはしている。この火を次の世代に手渡す前に、精一杯明るく燃やそうと思う。

三月十五日は月遅れの「涅槃会」です。涅槃会とは、お釈迦さまが亡くなられた御命日に営まれる法要です。「涅槃」はお釈迦さまが亡くなったことを意味し、インドの古い言葉である「ニルヴァーナ」の発音をそのまま漢字に置き換えたことです。もともと、悩みや執着といった煩惱を滅し尽くした世界、悟りの智慧を完成した状態を意味します。

お釈迦さまは三十五歳にして悟りを開き、「目覚めた人」を意味する「ブッダ」となりました。当初はその悟りの境地や内

容を説くことをせず、自身の中で味わっていました。しかし、梵天(古代インドの神ブラフマー)から再三にわたってお悟りで得た教えを衆生(生きとし生けるもの)に説くことを勧められ、以来四十五年にもわたってガンジス河流域を行脚し、多くの弟子や在家の信者のためにその教えを伝道し続けました。その後、八十歳の時に体調不良を訴えられ、クシナガラにてその身を横たえ、多くの弟子・信者に囲まれながら涅槃に入られました。やがて、荼毘(火葬)に付され、その遺骨(舍利)は多くの国々の仏塔に祀られました。(涅槃会でご供えられる「涅槃団子」はお釈迦さまのご遺骨を模したものと説かれています)

お釈迦さまは当初、自身の悟りに安住されることを選びました。それは冒頭の名言にもあるように、自身が「はかなく消え去る蠟燭の火」のような存在であると自覚なことからでしょう。しかし、五人の沙門(修行者)を手始めに、その教えを学び、体得した仲間が次第に増えていくのに力を得て、その仲間(教団)を大きくしていきます。その様子はさながら「蠟燭」が「燃えさかるたいまつ」

になっていくようです。

この冬は過度な暖冬少雪に加え、新型コロナウイルスの蔓延などの深刻な事態がありました。また、当地域においては、人口減少が依然として続いており、地域社会の存続が危ぶまれる状況です。つつい投げやりで悲観的な気持ちになってしまいがちですが、そんな時はお釈迦さまの伝道のお姿、そして冒頭のことばを思い出し、次の世代、また次の世代に、仏さまの教え、それに基づく生き方、さらにはそれぞれの地域社会を引き継いでいく責任に思いを致したいと思えます。また、涅槃会が終わるとすぐ春彼岸。お参りの際には、ご先祖さまたちが伝えてくださった生き方やその願いに思いを馳せてみては如何でしょうか？(副住職)



中国安陽市天寧寺の文峰塔の「涅槃図」彫刻

## 仏事

### Q&A 第四十回

Q、位牌について教えてください。

A、位牌は故人の戒名や没年月日が記されるだけでなく、依り代と考えられています。位牌には「仮位牌」と「本位牌」の二種類があり、仮位牌は人が亡くなるとすぐに作られる白木の簡素なもので、忌中(命日から四十九日まで)に祀られます。本位牌は忌中以降に祀る漆塗の位牌です。位牌の起源は諸説あって、儒教の習俗から説明されるのが一般的です。中国の宋代に禅僧が日本へもたらし、仏教に転用されていったとされています。位牌は本来一人ずつ作るものですが、夫婦の場合、一つの位牌に二つの戒名を連ねることもあります。また、先祖位牌が多い場合は、「繰り出し位牌」を用いるか、先祖代々の戒名と命日などを記した精霊簿(過去帳)を用いるとよいでしょう。多くの場合、位牌は台座が蓮華の形をしています。これは仏・菩薩がのる台座であり、そこに成仏した故人を祀り、敬っているのです。

※参考『仏事Q&A』(曹洞宗総合研究センター)

## ご案内

曹洞宗テレホン法話  
曹洞宗宗務庁運営  
0120-508-740  
携帯の方は 03-3454-5410  
※5月5日～11日  
「いますが如く」(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話  
「心の電話」  
曹洞宗東北管区教化センター運営  
022-218-4444



### 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための当寺の対応について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、各種講座内の法座(茶話会)は中止いたします。なお、感染がさらに拡大した場合、各種講座及び行事自体を中止する場合がございますのでご了承ください。(中止の場合は、当寺の公式ホームページ <http://www.daianji.jp>にてお知らせします)また、各種講座及び行事出席の際はマスクを着用するなど、感染拡大防止対策をお願いいたします。もし発熱や頭痛、咳などの症状がある場合は出席をお控えください。恒例の「大安寺花まつり」(五月八日開催)については四月上旬にあらためて公式ホームページ並びに折込チラシ等でご案内いたします。

### 各種講座のご案内 (令和二年三月～五月)

※新型コロナウイルス感染症拡大の場合は中止とする場合があります。

◆「月例写経・写仏会」(予約不要)  
日時：三月二十二日(日)、四月二十六日(日)、五月二十四日(日) 午後一時～三時  
内容：ミニ法話と写経・写仏  
場所：中広間 参加費：五百円 備考：椅子席  
※法座(茶話会)は中止いたします。

◆「暁天坐禅会」(予約不要)  
日時：四月十九日(日)、五月十日(日)、五月二十四日(日) 午前七時～八時 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合  
内容：禅語紹介と坐禅  
場所：中広間 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能  
服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)  
※法座(茶話会)は中止いたします。

### 行事カレンダー (令和二年三月～五月)

※新型コロナウイルス感染症拡大の場合は中止もしくは参列不可とする場合があります。  
■三月十五日(日) 午前十一時～「涅槃会法要」(本堂)  
※だんごのお供えは実施。不特定多数の方へのだんごまきは中止。  
■三月二十日(金) 春分の日 午前十一時～「春季彼岸会法要」(本堂)  
※同日午後二時より、永代供養墓苑合同供養祭(悪天候時は本堂にて)  
■五月八日(金) 午前十一時～「釈尊降誕会法要」(本堂)

### 編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されています。感染防止・早めの治癒のためには免疫力を高めるのが効果的とのこと。十分な睡眠、栄養をとり、この難局を乗り切り切りたいものです。(副住職)

### 次号のご案内

令和二年六月上旬に発行予定です。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禅師 太祖：瑩山禅師  
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)